

令和6年度 隠岐の島町都市計画審議会 議事録

日 時：令和6年10月31日（木）9：30～11：30

会 場：隠岐の島町役場3階 301会議室

出席者：隠岐の島町都市計画審議会委員

吉田雅紀 坂田勝己（欠席） 梅津文彦

徳畑信夫 金田隆徳（欠席） 大江 寿

菊地政文 安部大助 藤野定幸 西尾幸太郎

事務局（都市計画課）

（課長）石田

（都市整備係）課長補佐 前田 副主任技師 室崎

（都市計画係）係 長 西尾 主 事 金井

1. 開会

2. 会長選任

- ・吉田委員に決定

3. 会長あいさつ

4. 議事録署名者指名

- ・大江委員と梅津委員に決定

5. 議題

1) 都市計画道路の変更について（協議）

◇資料説明

◇質疑応答・意見

西尾委員：うみまち通りと道路の間に広場があると思うが、車の乗り入れについてはどのように考えているのか。また、路肩の拡幅は路上駐車がしやすくなるのでは。広場部分に駐車スペースを設置できれば路上駐車も減る。船の発

着時間などは交通量が増えるため危険。道路構造だけでなく、施設や広場運営方法にも影響が生じると思うが、どのようにシミュレーションしているのか。

事務局：頂いたご意見は町の懸案事項として確かにある。歩道側と車道側に段差を設けるのかどうするのかは決めていない。町は歩車共存の賑わいある道路空間を目指している。歩行者と車を分離しすぎると安全にはなるが、歩車共存の賑わいが出せない問題も出てくる。今後設計に入っていく中で検討していく。また、港湾委員会及び警察の了解が無ければ共存はないため、どのような利用が適しているか検討を進めていく。施設について、商業・暮らし・交流の機能は決まっているが、民間事業者が決まっていないため、設計が無い。町のデザインのコンセプトとして、通り側からは駐車場を見せないというものがあるため、うみまち通りからの乗り入れは考えていない。

西尾委員：コンセプトがあるのは分かるが、民間事業者が商業施設として活用する場合に貨物の搬入などの課題が出てくる。ある程度の道路幅員を用意しないとトラックは入ってこれない。色々なシミュレーションを行い、対応していかないと路上駐車の原因になる可能性もある。隣接する複合施設ともリンクする部分であるため、対応していただきたい。

吉田会長：今の意見は島根県の審議会にはどのように提出するのか。

事務局：西尾委員のご意見は背後への施設の乗り入れと駐車の問題だと考えている。県へは路上駐車懸念がある旨の意見を提出する。

2) 西郷港周辺まちづくりについて（報告）

◇資料説明

◇質疑応答・意見

藤野委員：道路の拡幅を行い、新しい施設を整備することは理解しているが、人が集まるにあたっての根本的な部分である駐車場はどのように考えているのか。

事務局：駐車場の問題については話をよく聞く。検討を進めている中で、港側にある駐車場の台数は確保することを考えている。まち側については、月極などで利用がされているが、駐車場で消えてしまうのは良くない。中町内に

設置する交通広場を活用できれば。立体駐車場、海側に3箇所駐車場があるが、そこを隠岐汽船ではなく、町の利用者の駐車場としても活用できるよう検討する。うみまち通り、大社通りに面した駐車場は作りたくない。不便にはなるかもしれないが、少し離れたところにまとまった駐車場を確保し、歩いてまちを利用するというまちづくりにしたい。

藤野委員：言っていることは分かる。遠い駐車場であっても無料であれば利用する。道路部分で、利用しやすいところに路上駐車をするため、無料化することが重要なのでは。町として考えてほしい。

事務局：駐車場の無料化については、町長の考え方もある。利用促進のためには無料化というのはおっしゃる通りで現在検討している。ただ、完全無料化にするデメリットもある。利用目的や規制などの仕組みも無料化と併せて検討していく。

徳畑委員：ターミナルもやり替えると思うが、利用するのに便利なターミナルにしていきたい。出迎えの時、駐車の場所もバラバラ。停車スペースの確保を。また、駐車場が遠くなると高齢の方は厳しい。やり替えることで不便になることは避けるべき。併せてバリアフリーについても検討を。

事務局：ターミナルの改修については県との協議や金銭的な部分からもこれから検討していく。隠岐汽船との協議は昨年度から始めているが、徳畑委員と同じことをおっしゃっている。便利で安全な港の確保の重要性は共通しているかと思う。

西尾委員：うみまち通りの集合施設は民間主導で行うという話であったが、民間が手を上げない場合はどうなるのか。整備事業の核となる部分であると思うが、どのように考えているか。

事務局：先に整備する大社エリア交流・民間商業施設は町が主導しながら、民間事業者運営に運営権を付与するやり方になったが、2年間で調査・検討してきた結果である。今までうみまち通りにできる施設の説明会も行っており、調査・検討を進めている。併せて、事業手法についても概ね決まってきている。民間が手を上げなかった場合、事業手法の変更や町外・県外事業者の検討も必要になる。

吉田会長：最初から全国に募集をかける考えはないのか。

事務局：全国募集をしているが、国が地域企業を参加させることで活力を生みだすローカルPFIという方針になっており、隠岐の島町も同様の考えである。ただ、隠岐の島町だけで進めると県外事業者からの不満も募るため、町に事業所を設置する民間事業者という条件を示している。ある程度の条件を設けながら進めていく。

西尾委員：事業途中であるのは分かるが、地元の人たちはすぐに乗車するため賑わいを生み出すことに繋がらない。車での移動手段がない観光客がうみまち通りに流れる想定は出来るが、検討中であることは理解したうえで、大社エリアの施設に人が流れる想定が出来ていないのはまずいのでは。肝となる部分がある程度形が見えるようにしないと町民の協力も得にくい。

事務局：現状の機能は決まっているが、どのような形になるか、規模になるかを示さないといけないことは把握している。来年度のところで事業者の決定、機能の公表出来るよう尽力する。

藤野委員：先日、産業建設常任委員会で大阪の大東市のまちづくりの様子を見てきたが、核となる要素として住民に対して説明をすること、参加してもらうことが一番であると説明を受けた。学校での授業を行っていることは把握しているがそこから上の世代の方たちへの説明や交流が見えない。子供たちが重要なことは分かるが、実際に住まれている方たちへの説明をしないといけないと感じている。町としてはどのような認識か。

事務局：住民と話をすることは当然。6年前から進めているプロジェクトは住民参加型で進めている。現在は、プロジェクトが膨らみ、大きなプログラムとしてまとめているが、中町・西町・港町・東町それぞれに密着したプロジェクト（例：中町駐車場など）がある。それらは地域の協力を得る必要があるため、意見交換をしながら進めていくことは当然。その一方で全体のまちづくりについては、地域と会話をしながら進めることは違うと考えており、セミナーやシンポジウムなどの形式で全体に対して情報共有していく。

藤野委員：そのような形で進めていかないとダメ。今後のビジョンを分かりやすく説明しないと分からないと思うため、考えていただきたい。

事務局：全体の大きなプログラムを分かってもらうための説明は必要であるが、す

すべての町内会を回って話すのは現実的ではない。個別の事業については自治会へ情報提供しながら進めていく。港の利用については、隠岐の島町の町民が利用する機能。隠岐の島町全体の合意を得る必要があると認識している。

藤野委員：イベントをやる際に中々人が集まらないのが現状。周知の方法を考えていただきたい。

菊地委員：港周辺の駐車場問題は以前からあった。事務局の発言した駐車場が見えるまちにはしないというのは理解している。今ある立体駐車場を増設するなごうまく活用できないのか。

事務局：今の施設に手を加えるのは、荷重や費用の点から上に増設するのは現実的ではない。駐車場の確保の重要性については認識しているため、駐車場計画を別に作成していきたい。

安部委員：大社エリアの施設にも、うみまち通りの施設にも交流スペースがあったが、ここがうまく活用されないと施設の空洞化につながる。このスペースの用途について検討していただきたい。また、大社エリアの施設は設計と建設を町が主導する。その一方で、うみまち通りの施設は民間の資本とノウハウを活用しながら進めていくことであったが、バックアップは町がしっかりと行うことと、この方針を維持することを考えていただきたい。

事務局：大社エリアの交流スペースは福祉連携もだが、誰でも利用できるスペースを予定している。うみまち通りのスペースについては、具体的なターゲットを決めても良いかもしれないが、民間主導の事業のため、具体的な内容は決定していない。子どもたちが集まることは今まで検討してきたものでもある。公共の部門で必要なものを今後検討していく。事業手法については、民間主導型を考えており、底地は町で取得するが、設計・建設・運営を民間に依頼する。民間だけの財源だけでは厳しい部分もあると思うため、利用できる補助や町としてサポートできる制度を検討している。

安部委員：民間への支援を整理しながら行っていただきたい。交流スペースについては2つ以外にも交流スペースが出来ると思うが、使用目的を明確にしているか分からないのでは。交通広場の図面を見ると駐車場としての活用と防災としての活用と中規模的に整備をしていくと思う。中町周辺は空

き家を潰し、駐車場にして収入とする流れがあるという話を中町住民から聞くが、公共的な駐車場を作ると、民間の駐車場を使ってもらえなくなる可能性もある。地域の実情を知ってもらうためにも足を運んでいただき、意見交換をしながら計画を進めていただきたい。

徳畑委員：西郷港周辺地区のまちづくりは昔あった賑わいを戻すために行うものだと認識している。ただ、商業施設を入れようとする莫大な土地が必要であり、駐車場や交通インフラが無い限りお客さんは入らない。この事業は隠岐の島町が地上げを行い、新しい町を作るように見える。一期で整備する施設の建築をストップし、全体で使用できる大きい土地とした方が民間としてはやりやすいのでは。空き地になっても良いと思う。長いスパンで考えても良いのではと意見として思う。

6. 閉会

以上、会議のてんまつを記録し、その内容の確かなることを証するために、ここに署名する。

令和6年10月31日

隠岐の島町都市計画審議会会長

隠岐の島町都市計画審議会委員

隠岐の島町都市計画審議会委員